

○草野成夫・*伊藤隆男・**佐野輝男・栞原実

カンキツエクソコーティスウイルス強毒株に対する弱毒株の干渉効果

Kusano, N., Ito, T., Sano, T. and Kuwahara, M. : Cross Protection of Mild Variants against A Severe One of Citrus Exocortis Viroid.

カンキツエクソコーティスウイルス(CEVd)は、カラタチ台カンキツに台木部の剥皮、樹勢低下および枯死症状を引き起こす等、甚大な被害を及ぼす重要病害である。今回、CEVd 感染性クローン由来の転写 RNA を検定植物エトログシロン系統アリゾナ 861-S1 に接種後、病徴の強弱により 10 変異株の中から 1 強毒株および 4 弱毒株を選抜し、干渉効果試験に用いた。その試験方法は、まず、弱毒株の穂木をエトログシロンに接ぎ木により予備接種し、その感染を確認した後、強毒株を切り付け(3回、5回)および接ぎ木により接種した。強毒株の感染確認は、強毒株を特異的に識別できるプライマーを用いた RT-PCR を開発し、それにより行った。その結果、予備接種無しの強毒株の切り付けおよび接ぎ木接種区では、3.5 ヶ月後までに全個体で感染が確認されたのに対し、弱毒株の予備接種区では、弱毒株の種類によって 3.5 月後までの強毒株の感染率に差が見られた。また、強毒株接種後の病徴発現程度が弱いものも確認され、干渉効果が発現したものと推察された。

(福岡農総試果樹苗木・*果樹研カンキツ・**弘前大農生)

表 弱毒 CEVd の干渉効果

処 理 区	1.5 月後	2.5 月後	3.5 月後
強毒-3回切り付け	2/6	3/6	6/6
強毒-5回切り付け	2/6	5/6	6/6
強毒-接木	1/6	6/6	6/6
No.1-3回切り付け	0/6	0/6	0/6
No.1-5回切り付け	0/6	0/6	0/6
No.1-接木	0/6	0/6	2/6
No.2-3回切り付け	0/6	0/6	0/6
No.2-5回切り付け	0/6	0/6	0/6
No.2-接木	0/6	0/6	0/6
No.3-3回切り付け	0/6	0/6	3/6
No.3-5回切り付け	0/6	1/6	3/6
No.3-接木	0/6	0/6	1/6
No.11-3回切り付け	1/6	1/6	2/6
No.11-5回切り付け	2/6	2/6	4/6
No.11-接木	0/6	1/6	3/6

注) 1) No.1,2,3,11 : 弱毒 CEVd

2) 数値は RT-PCR による強毒検出株数/供試株数